

R—6 (A)

| | | | | | | | | |
|-----|---|--|--|--|--|--|--|--|
| 受験号 | A | | | | | | | |
|-----|---|--|--|--|--|--|--|--|

| |
|-----------|
| 解答用紙番号 |
| フランス語 0—1 |

13—0—1

採点記入欄

フランス語 解答用紙

3枚の解答用紙と1枚の下書き用紙がある。
下書き用紙は回収しない。

| | | | |
|------|--|--|--|
| 座席番号 | | | |
|------|--|--|--|

(下の座席番号欄にも)
記入すること。

注意
※採点記入欄には何も記入しないこと。

1

- ① 水の音と似ている音が上方から発生していた。それは森の中の風の音だった。
- ② 山の麓の側面には、大麦やライ麦の畑が見えた。狭い谷間には牧草地が青々としていた。
- ③ 私たちがあの時代と決別して、國中が健康と豊さで輝くようになるには、8年しかかからなかった。
- ④ 昔の水源が、森が蓄えた雨と雪によって水量を増し、再び流れ始めた。人々はその水源の水を一定の方向に導いた。
- ⑤ 土地が高く売れる平野からきた人々は、その土地に定住し、そこに若さや躍動、冒険心をもたらした。

※採点欄

R—6 (A)

選抜区分

A

注意

- この欄の座席番号も必ず記入すること。
- ※採点表には何も記入しないこと。

| |
|-----------|
| 解答用紙番号 |
| フランス語 0—1 |

| | | | |
|------|--|--|--|
| 座席番号 | | | |
|------|--|--|--|

13—0—1

10 11 12

| |
|------|
| ※採点表 |
| 問題 1 |
| 0 |

13 14 15

R—6 (A)

| | | | | | | | |
|-----|---|--|--|--|--|--|--|
| 受験号 | A | | | | | | |
|-----|---|--|--|--|--|--|--|

| |
|-----------|
| 解答用紙番号 |
| フランス語 0—2 |

採点記入欄

13—0—2

フランス語解答用紙

| | | | |
|------|--|--|--|
| 座席番号 | | | |
|------|--|--|--|

(下の座席番号欄にも)
記入すること。

注意
※採点記入欄には何も記入しないこと。

2

創設 140 周年を迎えるアリアンス・フランセーズは、世界中にフランス語を発信する機関であり、今日 135 の国に 830 ほど存在する。特にアフリカでは発展が目覚ましく、34 カ国に 110 設置されている。

英語圏のアフリカ諸国においてフランス語の需要は高まっていいる。マダガスカルのような旧フランス植民地国においても、大学でもっとも用いられる言語がフランス語であることもあり、フランス語の能力試験の受験者が増えている。他方で、フランスの西アフリカに対する政策への不信という文脈において、アリアンス・フランセーズは新植民地主義という批判も受けている。

アリアンス・フランセーズは、多様性と異文化間の対話、さらには自発性と地域性という目的を掲げている。その目的を果たすためには、より普遍的で互恵的となり、フランス語をフランスの言語ではなく、フランス語圏の言語としてすることで、世界に開かれる能力が必要である。

※採点欄

R—6 (A)

選抜区分
A

注意

- この欄の座席番号も必ず記入すること。
- ※採点表には何も記入しないこと。

| |
|-----------|
| 解答用紙番号 |
| フランス語 0—2 |

| | | | |
|------|--|--|--|
| 座席番号 | | | |
|------|--|--|--|

| | | |
|------|--|--|
| ※採点表 | | |
| 問題 2 | | |
| 0 | | |

13—0—2

10 11 12

13 14 15

R—6 (A)

| | | | | | | | | |
|----|----|---|--|--|--|--|--|--|
| 受番 | 驗号 | A | | | | | | |
|----|----|---|--|--|--|--|--|--|

| |
|-----------|
| 解答用紙番号 |
| フランス語 0—3 |

13—0—3

採点記入欄

フランス語 解答用紙

| | | | |
|------|--|--|--|
| 座席番号 | | | |
|------|--|--|--|

(下の座席番号欄にも)
記入すること。

3

La baisse de la natalité au Japon, qui a débuté dans les années 1990, s'est accélérée rapidement au cours des années 2000. Bien que le gouvernement et les entreprises aient augmenté les mesures de soutien à la parentalité et les allocations familiales, le taux de natalité a continué à baisser dans les années 2010 et il a été confirmé que la population serait en déclin d'ici 2020. Les conséquences de cette situation sur l'avenir de l'économie et de la société suscitent des inquiétudes, ce qui a poussé le gouvernement à promouvoir le soutien aux familles et à entamer une réforme du mode de travail. Malgré tout, la lutte contre la baisse de la natalité restera un enjeu majeur pour l'avenir.

注意
※採点記入欄には何も記入しないこと。

※採点欄

R—6 (A)

| |
|------|
| 選抜区分 |
| A |

注意

- この欄の座席番号も必ず記入すること。
- ※採点表には何も記入しないこと。

| |
|-----------|
| 解答用紙番号 |
| フランス語 0—3 |

| | | | |
|------|--|--|--|
| 座席番号 | | | |
|------|--|--|--|

13—0—3

10 11 12

| | | |
|------|--|--|
| ※採点表 | | |
| 問題 3 | | |
| 0 | | |

13 14 15